

## 令和8年度事業計画

### 第1 基本方針

企業の定年延長等により新入会員の高齢化が今後も続くものと考えられる。また既存会員に目を転ずると、高齢化が進展し、退会者の増大を生み、一時期退会抑制効果を発揮したゴールド会員制度や当センターの独自施策である会費減免制度もその利用者の減少により、会員減少に歯止めが掛からない状況になっている。会員拡大を推進と退会者抑制は喫緊の最重要課題といえる。

そのような状況下ではあるが、契約高の増嵩はコロナ前の状況に戻るような活況を呈している。

今後の当センターの最大の課題は、80歳を超えても活躍できる就業環境の整備である。そのためには、多様な働き方のできる環境やワークシェアリングの推進が肝要となる。

### 第2 数値目標

区分	令和8年度目標	令和7年度見込	令和6年度実績
会員数	680人 (760人)	670人 (760人)	663人 (755人)
契約高	389,378千円 (362,900千円)	374,061千円 (359,400千円)	369,162千円 (355,800千円)
請負事業高	193,038千円 (222,900千円)	188,116千円 (220,700千円)	218,551千円 (218,500千円)
派遣事業高	196,340千円 (140,000千円)	185,945千円 (138,700千円)	150,611千円 (137,300千円)

\* ( ) 内の数字は中期計画の目標数値

\* 令和7年度における会員数の目標数値は、現状を踏まえ下方修正したものである。

\* 契約高は、逆木荘の指定管理委託料を除いた数字である。

### 第3 令和8年度実施計画

令和5年度から令和9年度までの5年間の第4次中期計画における4つの基本方針を踏まえ、令和8年度の重点事項を次のように定める。

#### 1 安定した財政基盤の確立と適正な予算管理（中期計画基本方針1）

センターの限られた財源により、継続して安定的にシルバーの運営を行うために、中長期的に見込まれる収入に対応した適正な規模の組織づくりと適正な予算作成と厳正な管理により財政基盤の強化を図る。

#### 2 会員拡充と会員支援の充実（中期計画基本方針2）

安定して会員を確保するため、市の広報紙を活用した広告活動などのPR活動や入会説明会の簡素化、現地説明会等、きめ細やかな入会方式を推進するとともに、会員一人ひと

り入会者紹介運動を推進する。女性のための入会説明会や女性会員の交流機会もさらに推進する。

またセンターが会員にとって、より生きがいの場となるよう会員への相談支援体制を充実させる。

さらにサークル活動等親睦活動の充実を図るとともにゴールド会員制度やポイント制度の更なる充実努める。また会員の就業に必要なスキルアップのための支援に努める。

### 3 安全・適正就業の推進（中期計画基本方針3）

安全就業の推進では、急速に進む会員の高齢化に対応して、就業中あるいは就業場所への移動中の事故防止のための対策を再構築する必要がある。特に気候変動に伴う夏季の酷暑対策は喫緊の課題として対策を講じることとする。

適正就業の推進では、契約の相手方に対して丁寧な説明を行う等により適正就業に対する理解を得るよう努め、更なる適正就業を推進するとともに、新規事業の開拓に努める。

### 4 組織運営の強化（中期計画基本方針4）

当センターの委員会の活性化と事務局組織の効率化と体制強化を通じて理事会の経営的運営を推進する。また当センターが指定管理を受託している鶴ヶ島市老人福祉センター「逆木荘」が、より多くの地域高齢者から利用されるよう、サービスの向上と広報の強化を図る。

さらにセンターのデジタル化は、事業の効率化と会員のスキルアップを目指すものであり、喫緊の最重要課題になっている。会員向け専用サイト「Smile to Smile」の普及を図るとともに「Smile to Smile」を活用した情報提供を推進する。